



平成27年3月2日(月)発行 【隔月(年6回)発行】

発行部署 : ソリューション営業本部ソリューション営業部  
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号  
電話番号 : 03-5408-4600  
発行責任者 : 白土 雄二郎  
お問合せ窓口 : 芝 啓彦

## 第116号

### 【目次】

1. 中部ロジスティクスセンター開所
2. トラック安全装置義務化
3. 貨物自動車運送事業 輸送安全規則の一部改正
4. 第39回地球環境とエネルギーの調和展 参加レポート
5. ダイバーシティマネジメント研修 参加レポート
6. 場所紹介 ~静岡営業所(牧之原市)の巻~
7. LIFEによる物流改善提案のご紹介 ~最適出荷場所~



## 1. 中部ロジスティクスセンター開所

2015年1月5日愛知県清須市で当社の新たな物流拠点となる中部ロジスティクスセンター(以下中部LC)の開所式が執り行われました。開所式には荷主様、倉庫の貸主様、当社社長ら総勢約30名が列席しました。

中部LCは名古屋高速の清洲ジャンクションに近接する好立地にあり、2階建の倉庫で約2,000坪の保管能力を持っています。

中部LCの開所以前は、三重県松阪市で倉庫を構え、同荷主様の物流業務を行って参りましたが、今般、荷主様の業務移管に合わせて、名古屋地区に新たな物流拠点を開設しました。

松阪時代から約13年間労働災害ゼロ、重大なQAトラブルもゼロであったことから、中部LCでも、安全・品質管理の優れた伝統を引き継いでいく所存です。

既に多くの荷物をお預かりしており、荷主様やお客様に満足して頂けるサービスをご提供できるよう経験とノウハウを活かして対応していきます。今後も荷主様、お客様の多様化するニーズにお応えするため、高品質なロジスティクス・サービスを更に一層充実させて参ります。



【中部ロジスティクスセンター外観】



【開所式】

## 2.トラック安全装置義務化

国土交通省自動車局では、交通事故死者数の削減のため、安全基準等の拡充・強化、先進安全自動車(ASV)の開発・実用化・普及の促進等により、車両の安全対策を推進していますが、2015年1月道路運送車両の保安基準等を改正し、バス・トラックに車線逸脱警報装置(LDWS)を義務化すると発表しました。

車線逸脱警報装置(LDWS)とは、自動車が走行中に車線から逸脱しようとしている、または逸脱している旨を運転者に警報することにより自動車の車線からの逸脱を防止する装置のことです。

適用時期については右表の通りで、2021年11月には継続生産車両も含めすべての車両が義務化される予定です。

自動車メーカーも先進安全自動車(ASV)に関し積極的に取り組んでおり、車線逸脱警報装置(LDWS)についても標準装備になっているところも出てきています。

当社子会社である菱化ロジテック社においても、当該保安基準等の改正に合わせ順次対応をしていく予定です。

### 【適用時期】

(上段：新型車、下段：継続生産車)

自動車の種別	車両総重量	適用時期
専ら乗用の用に供する自動車であって乗車定員10人以上のもの	12t以下	平成31年11月1日 平成33年11月1日
	12t超	平成29年11月1日 平成31年11月1日
貨物の運送の用に供する自動車(第五輪荷重を有する牽引自動車であって車両総重量13tを超えるものを除く。)	3.5t超8t以下	平成31年11月1日 平成33年11月1日
	8t超20t以下	平成30年11月1日 平成33年11月1日
	20t超22t以下	平成30年11月1日 平成32年11月1日
	22t超	平成29年11月1日 平成31年11月1日
貨物の運送の用に供する自動車(第五輪荷重を有する牽引自動車であって車両総重量13tを超えるものに限る。)	-	平成30年11月1日 平成32年11月1日

※出所：国土交通省

## 3.貨物自動車運送事業 輸送安全規則の一部改正

2012年3月(98号)のLIFE TIMESにてご紹介しました「運行記録計(タコグラフ)装着義務 中・小型トラックへ拡大検討」から、国土交通省にて4回にわたり検討を重ね「運行記録計の義務付けの拡大」の結論を得て、この度、「貨物自動車運送事業輸送安全規則」を改正し、公布・施行されることとなりました。

具体的には、一般貨物自動車運送事業者等の事業用自動車のうち、運行記録計による記録及び当該記録の保存を行うことを義務付ける対象を「車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上の普通自動車である事業用自動車」から「車両総重量が7トン以上または最大積載量が4トン以上の普通自動車である事業用自動車」に拡大しました。死亡事故や重軽傷事故が多発していること、長距離・長時間輸送が比較的多い状況にあることを勘案して、交通事故削減の観点から一層重点的な安全対策を行うべく、新たに運行記録計の装着義務付けの対象を拡大しました。

これにより昨今の厳しい経営環境の中、新たなコスト負担増となりますが、更なる安全運行で輸送できるよう邁進して参ります。

公布

平成27年12月1日

施行

平成27年4月1日(新車購入し新規登録時に適用)  
平成29年4月1日(使用過程車)

新

車両総重量 7トン以上 または  
最大積載量 4トン以上

旧

車両総重量 8トン以上 または  
最大積載量 5トン以上

※出所：国土交通省

## 4. 第39回 地球環境とエネルギーの調和展 参加レポート

2015年1月28日～30日までの3日間、東京ビッグサイトにて「ENEX2015 第39回地球環境とエネルギーの調和展」が開催されました。省エネルギーに関連する「ENEX2015」、エネルギー技術に関連する「Smart Energy2015」、そして今回初めて「新電力EXPO2015」が同時開催されました。これらの展示会は、2016年4月に実施される電力小売り全面自由化に伴って開催されており、電力会社以外の企業にも大きなチャンスとなっているため、多くの企業がエネルギーシステムに関連する機器やサービスの展示を行っていました。

以前ご紹介しましたが、当社では、倉庫屋上に太陽光パネルの設置を行いました。これも仕組みの変化への対応の一つです。電力小売り自由化で物流業界が直接大きな影響を受けることは考え難いですが、変化する市場に対応するため、他社との提携といった手段などで競争力を高めることも必要と感じました。



## 5. ダイバーシティマネジメント研修 参加レポート

2015年1月14日渋谷にあるこどもの城にてキャリアネットワーク社主催の「ダイバーシティマネジメント研修」に参加してきました。

本研修の中で特に興味深かった内容は、女性活躍推進の問題が日本の中でなかなか進まない原因の一つとして挙げられるのが、『無意識にジェンダーバイアスがかかっている』という内容でした。ジェンダーバイアスは長い時間をかけて社会制度や慣行により歴史的に形成されてきたものであるが故に、人の心の中に無意識に根深く刷り込まれているということでした。

当社もこれから経営層、管理職、女性社員向けと女性活躍推進に関する研修を実施する予定ですが男女関わらず、一人ひとりの心の中からこういった問題を取り除いていくことも重要であり、人の考え方というのは急に変わるものではないので、地道な取り組みが重要であると再認識させられる内容でした。

## 6. 場所紹介 ～静岡営業所(牧之原市)の巻～

当社東日本エリア営業部静岡営業所(牧之原市)は、静岡県の中中部地区の南に位置し、牧之原大茶園を背に、東に駿河湾を望む緑豊かな場所に3名が駐在し、A社製品の場内・倉庫・輸送管理に日々奮闘しています。

牧之原市は、東名高速道路相良牧之原ICと御前崎港、さらに富士山静岡空港と、陸・海・空それぞれの玄関口を持つことで、静岡県東遠地域の交通の結節点となりつつあり、今後の物流の要所となることが期待されます。地形は、北部に広がる牧之原台地、変化に富んだ海岸地、河川の沖積平野などから構成されており、温暖な気候と長い日照時間が良質な茶の栽培に適しているため、荒茶の生産量は全国1位茶園の面積も静岡市に次いで全国2位であります(深蒸し茶発祥の地)。静岡県農協茶業者集会在平成26年2月20日に開催され、第52回静岡県茶品評会の「静岡牧之原茶」は、深蒸し煎茶の部で、出品数50点以上の部門を対象に選ばれる優秀産地賞を受賞しました。ぜひ皆さんも一度ご賞味下さい。

また日本有数の海水浴場である静波海岸とさがらサンビーチがあり、夏には遠浅で波が静かなビーチに連日大勢の海水浴客が訪れる他、サーフポイントも点在していて、県内外からサーファーたちが集まり、一年を通して賑わっています。

シラス漁なども盛んですので、お近くまでお越しの際はぜひ、シラス丼でお腹を満たし、お茶でのどを潤して頂ければと思います。



【静岡お茶コーラ】



【茶畑と富士山】



【静波海岸】

## 7. LIFEによる物流改善提案のご紹介 ～最適出荷場所～

今回は「最適出荷場所」というテーマについてご紹介いたします。

輸送に関してよくあるご相談は、「輸送コストを削減したい」という内容です。改善方法としては輸送手段や輸送会社の変更による輸送コスト削減、またそれに伴うSP変更等による在庫量削減など、様々な方法があります。当社でよく検討、提案する手法として「最適出荷場所」の選定がありますので、その3つのケースについてご紹介いたします。

### ■ケース 1 顧客分布図から見たSPの最適立地

トンキロのミニマム化によって出荷場所を試算する

### ■ケース 2 SPの設置数と立地の最適化

トンキロとコストとの総合的な判断によって評価する

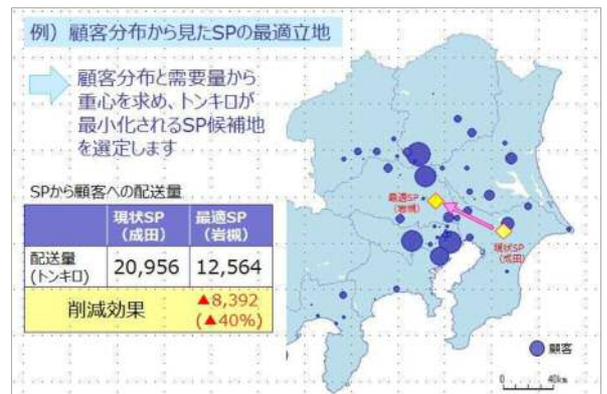
### ■ケース 3 工場から顧客までの輸送経路最適化

各SPを経由するあらゆる輸送パターンでコストを試算し最安価のパターンを選定する

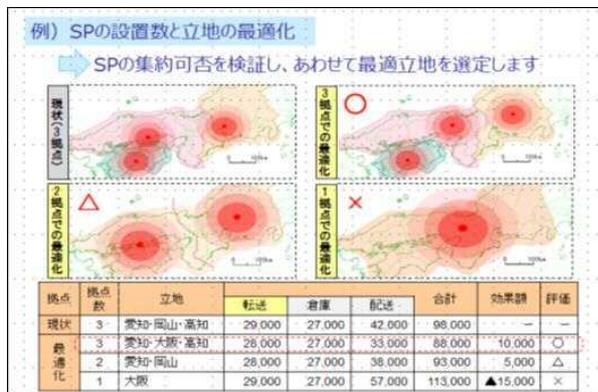
上記のような方法で改善案を検討しておりますので、輸送に関する問題がございましたら、是非、当社までご相談をお願いいたします。ご連絡お待ちしております。

<イメージ図>

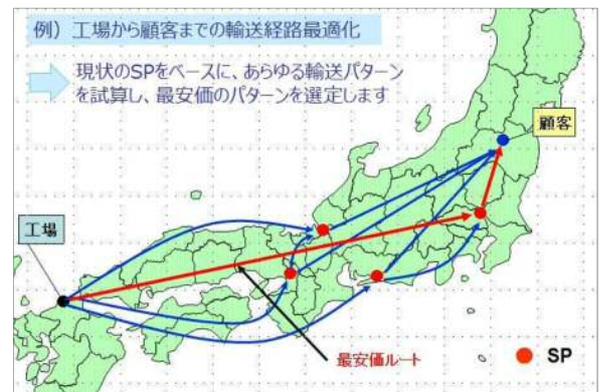
<ケース 1>



<ケース 2>



<ケース 3>



## 編集後記

ソリューション営業部 北原 美貴

いつまでも寒い日が続いていると思っているうちに確実に花の蕾もふくらみ、春の準備も着々と進んでいるようです。月日が経つのは早いもので、今年度も残すところ後わずかとなりました。みなさんにとってはどんな1年だったでしょうか？

これからの季節、多くの方が卒業や入学、就職など人生の大きな節目を迎えられることと思います。新しい環境に不安や戸惑いがあるかもしれませんが、春というモノは何度迎えても不思議とワクワクした気持ちにしてくれますよね。新たな出会いに期待し、元気に新年度を迎えたいですね！！